

**平成 28 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業  
重点課題**

分野	番号	技術の内容・性能
交通	1-①	従来型ディーゼル車に対して燃費 1.75 倍程度の小型～中型 FCトラックの開発・実証
	1-②	中規模（1.5kg/h 程度）の 高圧水素を製造する再エネ由来水素ステーション関連技術の開発・実証
	1-③	CO2 排出量を 10%程度削減可能な観光地の二次・三次交通における低炭素車両及びマネジメントサービスの開発・実証
	1-④	最新のディーゼル重量車から CO2 排出量を 10%程度削減し、長距離走行が可能な天然ガストラックの開発・実証
	1-⑤	プローブ情報や車両管理システム等のデータを活用した既存車両の CO2 排出量を 15%以上削減できる低炭素利用システムの開発・実証
建築物等	2-①	三重効用化や再エネ熱・未利用熱利用等による高効率吸収式冷温水機（COP2 程度、空調用温度域での利用）の開発・実証
	2-②	食器洗い乾燥機や浴室乾燥機へのビルトインが可能な小型ヒートポンプ（COP2 程度、乾燥用温度域での利用）の開発・実証
	2-③	ヒートポンプを利用した空調機器の大幅な高効率化に向けた新たな熱利用機構（例：エジェクタサイクル、磁気ヒートポンプ等）の実用化開発
再生可能エネルギー・自立分散型エネルギー	3-①	小容量領域に対応した管水路用小水力発電システム（10kW 以下）の小型化、低コスト化に関する開発・実証
	3-②	既設の風力発電施設リパワリング技術（年間発電量 10%程度増加）の開発・実証
	3-③	低温（60～80℃程度）の未利用熱源で発電する高効率なバイナリー発電システムの開発・実証
	3-④	小型（5～10kW）で高効率（発電効率 50%程度）かつ低コストな業務用中低温型燃料電池の開発・実証
	3-⑤	太陽光・風力発電等の発電電力回収量を 10%程度向上させる技術の開発・実証

バイオマス・循環資源	4-①	総消費エネルギーを従来から 50%程度低減が可能な廃棄物からの金属回収プロセスの開発・実証
	4-②	一般廃棄物処理施設において 20%程度の CO2 排出量の削減を実現するための運用管理技術の開発・実証
	4-③	国内で発生する木質バイオマス等を活用した総合効率 80%程度のコージェネ（製品化されてない数百 kW 規模）の開発・実証
	4-④	従来の木質バイオマスに加え、性状の異なるバイオマスの利用が可能な、自動運転機能付きの小規模（数百 kW 程度）な熱利用システムの低コスト化（現状比 30%程度低減）に関する開発・実証
	4-⑤	ごみ発電施設の稼働に伴う発電効率の低下を 50%程度抑制する保守技術の開発・実証
	4-⑥	熱回収率が 12%（100 t / 日規模の場合。廃棄物燃料製造施設の場合には、これに相当する CO2 削減効果を有する施設）以上であり、かつ低コスト（同規模の単純焼却炉から 2 割程度低減）の廃棄物処理施設の開発・実証